

市民科学の ポテンシャルを 高める —eBird Japanから学ぶ—

日本社会では、市民科学の持つ高いポテンシャルが十分に発揮されていません。そのポテンシャルを高めるために、優れた国際的な市民科学プロジェクトを日本に導入することは有効なアプローチです。今回は、その事例としてeBird Japanから学びます。ディスカッションでは、参加者のグループ討議によりeBird Japanからの新たな学びと市民科学の参加を促進する方法について意見交換をします。

2022 **12 / 13** 火曜日 **19:00~20:45**

オンライン開催 (ZOOM)

生物多様性アカデミー会員 / 非会員 / 学生 : 無料
定員 : 40名 (先着順)

- 19:00 開催の挨拶
小堀洋美 (生物多様性アカデミー代表, 東京都市大学特別教授)
- 19:05 講演「eBird Japanから学ぶ: 世界最大の鳥類の市民科学の概要と活用方法」
岡本裕子 (日本野鳥の会・自然保護室)
- 20:00 ディスカッション「eBirdからの新たな学びと市民科学の参加を促進するには」
参加者のグループ討議と各グループの概要発表
- 20:40 今後のスケジュール
- 20:45 オンライン交流会 (~21:15)

講演者: 岡本裕子氏
(公財) 日本野鳥の会・自然保護室

千葉県出身。学生時代から地域の干潟の保全活動に関わる。2000年より(公財)日本野鳥の会に勤務。レンジャーを経て、自然保護室でIBA(重要野鳥生息地)事業などを担当。海外のNGOや学校と連携したツバメの調査にも取り組む。2020年より、コーネル大学鳥類学研究室と協働で、世界最大の野鳥観察データベースeBirdの日本語版eBird Japanの開発を担当。2021年11月にeBird Japanを公開し、その利用促進に向けて講座やイベント等様々な普及活動を行っている。

参加登録

参加をご希望の方は、右のQRコードにある登録フォームより参加登録をしてください。後日ZOOMリンクをお送りします。

